

- ▶ ベトナムでは急激な経済成長と都市化が進行するなか、下水道施設の整備が追いついておらず、水質汚濁が深刻化している。
- ▶ 本事業では、ハノイ市最大となる下水処理場(27万m³/日)、下水道管渠(約41km)を整備し、水環境の改善を図る。

事業概要

- ・ ハノイ市中心部西側のトーリック川、中心部に近いルー川流域等を対象に、下水処理場(27万m³/日(対象人口 約100万人))、下水道管渠(約41km)を整備するもの。下水処理場の流入管、下水道管渠の整備には、非開削工法的一种である推進工法を採用。
- ・ 総事業費 約670億円(借款額 約284億円)

Package 1:
エンサ下水処理場(処理能力 270,000m³/日)、流入管 (0.2km)

Package 2:
下水遮集管渠 (トーリック川沿いの幹線と処理場までの幹線 22.0km) : 合流区域

Package 3:
下水遮集管渠 (ルー川沿いの幹線 7.7km) : 合流区域

Package 4:
下水遮集管渠 (ハドン地区、新市街地内の幹線と枝線 11.5km) : 合流、分流区域

遮集: 下水(汚水と雨水)が河川に放流される手前で集め、下水処理場へ送ること

【主な本邦企業の関わり】

Package 1 受注者: JFEエンジニアリング(株)・月島JFEアクアソリューション(株)JV

Package 2 受注者: 鉄建建設(株)

上記における推進工法の施工に、ヤスタエンジニアリング(株)が参画。

コンサルティングサービス(詳細設計、入札補助、施工管理、運営維持管理支援)

受注者: (株)日水コン・(株)NJS・(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル・現地企業2社JV



下水処理場全景(令和7年3月下旬撮影)
※JFEエンジニアリング(株)提供



推進工法による下水遮集管渠
の施工状況
※鉄建建設(株)提供

位置図

